

第 7 7 0 回 (2022～2023 年度第 4 回) 例会

2 0 2 2 (令和 4) 年 8 月 4 日 (木)

開催場所 メルパルク名古屋 担当 クラブ管理委員会

1. 点鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. ゲスト・ビジターの紹介
2022-23 年度地区大会実行委員
岡田 展利様
伊奈 一郎様
4. ニコボックス報告
前累計 68,000円
本日 36,000円 (11 件)
累計 104,000円
目標 480,000円 (21.7%)
5. 出席報告
(出席数/補填数/会員数 出席率)
本 日 11/0/20 55.0%
前 回 9/2/20 55.0%
前々回 8/0/20 40.0%
先 月 50.0%
年 間
6. 幹事報告
①理事会予定
・ 8 月 1 6 日 (火) 19 : 00～
場所 : 未定
担当 : クラブ管理委員会
- ②行事等 (参加者敬称略 点鐘予定時間)
・ 8 月 5 日 (金) 12 : 00～
ロータリー財団セミナー
場所 : 名古屋東急ホテル 3F
出席予定 : 石田君、加納君
・ 8 月 2 1 日 (日) 9 : 30～
会長エレクト研修パート I
場所 : ウィンク愛知
出席予定 : 阿部君
7. 委員会等報告
・ 8 月 1 0 日 (水) 19 : 00～
奉仕プロジェクト委員会
場所 : 武儀一
8. 近況報告
本日は割愛させていただきます
9. 会長挨拶

会長 石田 壽君



皆さん、こんばんは。

本日は常滑 RC より地区大会の PR に実行委員会の岡田展利様、伊奈一郎様がお見えです。

ようこそお出でくださいました。

毎日暑く寝苦しい夜が続きますが、熱中症には気を付けてください。

さて、先回世界のCO₂総排出量の40%を建築分野が占めているとお話ししましたが、ではどうやって抑制していこうとしているのか。日本では、建築物のCO₂排出抑制のため法律の大改正を進めようとしています。2025年度に向けて「脱炭素大改正」というもので、建築基準法と建築物省エネ法の改正です。主なポイントは四つあり、「建築確認の見直し」

「省エネ性能の引き上げ」「木材利用の促進」

「既存ストックの長寿命化」となります。

その中で、今日は皆さんに影響しそうな「省エネ性能の引き上げ」について。これは2025年に原則全ての建築物に省エネ基準適合を義務付けるものです。現行では300㎡以上の非住宅が義務付けられ、住宅は届出ですみました。ところが、ほぼ全ての住宅(10㎡以下は対象外)が義務付けられます。

省エネ基準適合化とは何かといえば、断熱性能、高効率の設備機器(冷暖房設備・消費電力の少ない照明等・節水型の水廻り設備)、太陽光発電の設置になります。

断熱性能は、現行：断熱等級4(UA値0.87)ですが、断熱等級4の住宅は住宅ストックのたった1割しかありません。新たに等級5(UA値0.6-ZEH基準)、6(UA値0.46)、7(UA値0.26)を創設しZEH基準以上を目指します。また、2030年までに新築戸建て住宅の6割に太陽光発電設備の導入を目指すとしています。

※東京都は住宅の太陽光発電設置義務化、条例改正 2023年公布、2024年施行予定

私は最近まで太陽光発電設備が嫌いでした。それは製造時と廃棄時のCO₂排出の問題のことなどが原因ですが、今は太陽光発電の製造時のCO₂は1~2年で回収でき、耐用年数も長くなっているというのが一般的なコンセン

サスになっています。

住宅価格への影響もあります。外皮性能にかかるコストは、ある試算によれば等級4と比較して、等級5、6は1.3倍~1.5倍、等級7では約2.7倍に増えると言われています。

これに対して、国としては補助金、住宅ローン減税などを省エネ性能が高いほど優遇される制度の導入を考えているようです。コストはかかりますが、「暖かく涼しい健康で快適な暮らしをいつまでも最小のコストで」実現できればそれに越したことはありません。本来エネルギーをあまり使わないで快適に暮らせることがよいのですが、中々現在の気候と都市化の状況ではそうはいかないので、住宅のあり方を考えてみてください。

10. 本日のプログラム

「地区大会 PR&卓話 (加納君)」





11. 点鐘

12. 次回例会案内

8月18日(木) 08:00~

場所: ホテルメルパルク名古屋

出欠登録締切: 8月4日(木) まで

☆ 委員会報告、メーキャップ報告はお早めに

☆ 今月のお誕生日

3日 野村 桂子様

13日 山田 里美様

21日 阿部 規久子様

「奉仕の理想」

奉仕の理想に 集いし友よ
御国に捧げん 我等の生業
望むは世界の 久遠の平和
めぐる歯車 いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー
ロータリー

「四つのテスト」

言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか